



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

2023年7月27日
農林中央金庫
農中信託銀行株式会社

ニプロ株式会社とのソーシャル・ローンの契約締結について

農林中央金庫（代表理事専任：奥和登）は、都道府県信用農業協同組合連合会（以下「信農連」）および信用漁業協同組合連合会（以下「信漁連」）の計8団体と協調し、ニプロ株式会社（代表取締役社長：佐野嘉彦、以下「ニプロ」）との間で、シンジケート方式でのソーシャル・ローン契約（以下「本シ・ローン」）を締結いたしました。本件シ・ローンは、農中信託銀行株式会社（代表取締役社長：高橋茂充）がアレンジャーを務め、信農連、信漁連および農林中央金庫にてシンジケート団を構成するソーシャル・ローンとなります。

ソーシャル・ローンは、その調達資金を「社会的課題を解決する事業」に充当することを目的としたローンです。本シ・ローンは、ニプロが2021年9月に策定したソーシャルファイナンス・フレームワーク（以下「本フレームワーク」）に掲げるソーシャルプロジェクトに充当される予定です。ニプロによるソーシャルプロジェクトは、安心、安全な医薬品・医療機器の安定供給や患者にとっての生命維持・QOL向上等の成果が見込まれることに加え、医療提供側にとっても医療事故低減や労働環境改善といった成果につながることを期待されています。

ニプロは、『「真にグローバルな総合医療メーカー」として、「未来に向かって、世界の人々の健康を支え、医療ニーズに応える商品、技術及び事業の創造革新を行い、社会に貢献し、自己実現を図る。」こと』を経営理念として掲げ、高品質かつ安定的な医療機器・医薬品の供給を通じたサステナビリティ経営に取り組んでいます。

農林中央金庫は、自らの存在意義（パーパス）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみならずともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」と定めています。また、2021年5月に発表した中長期目標のなかで、2030年度までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額を累計10兆円とする目標を設定するなど、グループ一体となったサステナブル経営に向けた歩みを進めています。本件シ・ローンによる資金供給を通じて、ニプロによる「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成」をはじめとした社会的課題の解決に資する取組みを支援してまいります。

なお、本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA：International Capital Market Association）にて策定された「ソーシャルボンド原則 2021」との適合性について、株式会社格付投資情報センター（R&I）から第三者評価（セカンドオピニオン）を取得しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 大阪支店 関西営業部 06-6205-2111
農中信託銀行株式会社 営業開発部 03-5281-1430

【本件シ・ローンの概要】

■ 組成方法	シンジケート・ローン
■ 実行日	2023年7月31日
■ 融資期間	5年
■ 融資額	100億円
■ シンジケート団 (五十音順)	茨城県信用農業協同組合連合会 埼玉県信用農業協同組合連合会 滋賀県信用農業協同組合連合会 新潟県信用農業協同組合連合会 農林中央金庫 北海道信用漁業協同組合連合会 北海道信用農業協同組合連合会 福岡県信用農業協同組合連合会 和歌山県信用農業協同組合連合会
■ エージェント	農林中央金庫
■ アレンジャー	農中信託銀行株式会社

【参考リンク】

ニプロウェブサイト :

<https://www.nipro.co.jp/>

サステナビリティに関する取り組み :

<https://www.nipro.co.jp/sustainability/>

ソーシャルファイナンス・フレームワーク概要 :

https://www.nipro.co.jp/news/document/210909_framework.pdf

株式会社格付投資情報センターによるセカンドオピニオン :

https://www.nipro.co.jp/news/document/210909_opinion.pdf

以上